

## 安全データシート

Safety Data Sheet

## 1. 製品名及び会社情報

製品名 : 白馬 エクセル  
 会社名 : 株式会社 万立  
 住所 : 大阪府柏原市片山町 13-59  
 担当部門 : 技術  
 電話番号 : 072-977-0898  
 F A X 番号 : 072-977-0899  
 推奨用途及び使用上の制限 : 化学床材の保護（防汚、傷防止）つや出しコーティング

## 2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響：

GHS分類

物理化学的危険性

金属腐食性物質 : 区分外

健康に対する有害性

急性毒性（経口） : 区分外

急性毒性（経皮） : 区分外

急性毒性（吸入：ガス） : 分類できない

急性毒性（吸入：蒸気） : 分類できない

急性毒性（吸入：粉塵、ミスト） : 分類できない

皮膚腐食性／刺激性 : 区分3

眼に対する重篤な損傷／眼刺激性 : 区分外

呼吸器感作性 : 分類できない

皮膚感作性 : 分類できない

生殖細胞変異原性 : 分類できない

発がん性 : 分類できない

生殖毒性 : 区分外

特定標的臓器毒性（単回暴露） : 区分外

特定標的臓器毒性（反復暴露） : 区分外

吸引性呼吸器有害性 : 区分外

環境に対する有害性

水生環境有害性・急性 : 区分外

水生環境有害性・慢性 : 区分外

オゾン層への有害性 : 分類できない

ラベル要素

絵表示 : なし

注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : 軽度の皮膚刺激

注意書き：

[予防策]

[対応] 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。

[廃棄] 内容物／容器を適切な焼却炉で焼却処理するか、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

[使用上の注意] 保護具を着用して御使用下さい。

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物  
 成分及び含有量 : スチレン・アクリル系樹脂エマルジョン、可塑剤、ポリエチレンワックスエマルジョン、

|                        |  |
|------------------------|--|
|                        | 皮膜形成助剤、水   |
| 官報公示整理番号（化審法）          | ： 有り   |
| 官報公示整理番号（安衛法）          | ： 既存   |
| C A S 番号               | ： 非開示  |
| 危険有害成分                 | ： 含有せず   |
| <b>4. 応急処置</b>         |  |
| 吸入した場合                 | ： 新鮮な空気の場所へ移動させ安静にし、必要に応じて医師の手当てを受ける。  |
| 皮膚に付着した場合              | ： 多量の水及び石鹼で洗い落とす。症状がでた場合には、必要に応じて医師の処置を受ける。  |
| 眼に入った場合                | ： 直ちに清浄な流水で15分以上洗浄した後、医師の処置を受ける。   |
| 飲み込んだ場合                | ： 水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水又は牛乳を飲ませる。直ちに医師の処置を受ける。<br>被災者に意識がない場合には、口から何も与えてはならない。   |
| 応急措置をする者の保護            | ： 救助者は可能な限り保護具（手袋・眼鏡等）を着用する。   |
| <b>5. 火災時の処置</b>       |  |
| 消火剤                    | ： 粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、水噴霧   |
| 使ってはならない消火剤            | ： 情報なし   |
| 火災時の特定危険有害性<br>特定の消火方法 | ： 燃焼ガスには、一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。<br>火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。<br>消火作業は、可能な限り風上から行う。<br>関係者以外は安全な場所に退避させる。<br>周囲の設備などに散水して冷却する。<br>消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な措置を行う。 |
| 消火を行なう者の保護             | ： 燃焼ガスには、一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、適切な呼吸用保護具を着用し、煙の吸入を避ける。   |
| <b>6. 漏出時の処置</b>       |  |
| 人体に対する注意事項             | ： 作業には必ず保護具（手袋・眼鏡・防毒マスク等）を着用する。<br>多量の場合、人を安全な場所に退避させる。必要に応じた換気を確保する。  |
| 環境に対する注意事項<br>除去方法     | ： 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。<br>少量の場合、吸着剤（土・砂・ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。大量の水で洗い流す。<br>多量の場合、盛り土で困って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラム等に回収する。  |
| 二次災害の防止策               | ： 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。<br>床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。<br>漏出物の上をむやみに歩かない。火花を発生しない安全な用具を使用する。   |
| <b>7. 取扱い及び保管上の注意</b>  |  |
| 取扱い                    |  |
| 技術的対策                  | ： 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。   |
| 注意事項                   | ： 乾燥すると皮膜を形成するので、付着した場合は直ちに拭き取るか、水洗により除去する。  |
| 安全取扱い注意事項              | ： 作業場の換気を十分行う。<br>保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。<br>取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。   |
| 保管                     |  |
| 適切な保管条件                | ： 通気の良い屋内で容器を密閉し保管する。  |
| 安全な容器包装材料              | ： 製品使用容器に準ずる。  |
| <b>8. 暴露防止及び保護処置</b>   |  |
| 設備対策                   | ： 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。<br>取扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。  |
| 管理濃度                   | ： 設定されていない   |
| 許容濃度                   | ： 設定されていない   |
| 日本産業衛生学会（2011年度版）      | ： 設定されていない   |
| ACGIH（2010年度版）         | ： 設定されていない   |

|            |                           |
|------------|---------------------------|
| 保護具        |                           |
| 呼吸用の保護具    | : 通常の取扱いでは特に必要ない。         |
| 手の保護具      | : 不浸透性（耐薬品、耐油、耐溶剤）保護手袋    |
| 眼の保護具      | : 側板付き保護眼鏡                |
| 皮膚及び身体の保護具 | : 長袖作業衣                   |
| 適切な衛生対策    | : 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。 |

## 9. 物理的及び化学的性質

|            |                   |
|------------|-------------------|
| 物理的状态      |                   |
| 形状         | : 水性エマルジョン        |
| 色          | : 乳白色～微黄褐色        |
| 臭い         | : 香料臭、微アンモニア臭     |
| pH         | : 8～9（製品原液）       |
| 比重（d 25/4） | : 約1.04           |
| 粘度         | : 8～13 mPa・s（20℃） |

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

|      |                 |
|------|-----------------|
| 沸点   | : 約100℃         |
| 凝固点  | : -5℃以下         |
| 分解温度 | : 情報なし          |
| 引火点  | : 示さず（C. O. C.） |
| 発火点  | : 情報なし          |

爆発特性

|      |        |
|------|--------|
| 爆発限界 | : 情報なし |
| 蒸気圧  | : 情報なし |
| 蒸気密度 | : 情報なし |

溶解性

|       |                                 |
|-------|---------------------------------|
| 水溶解性  | : 水に任意の割合で溶解する。                 |
| 溶媒溶解性 | : 有機溶剤との直接接触により、成分の分離が生じる場合がある。 |

オクタンール/水分係数

その他のデータ

## 10. 安定性及び反応性

|            |                                 |
|------------|---------------------------------|
| 安定性        | : 通常の使用条件で安定。                   |
| 反応性        | : 自己反応性、水との反応性、自己重合性なし。         |
| 避けるべき条件    | : 酸類、塩類、溶剤類との接触（いずれも分離促進する傾向あり） |
| 避けるべき材料    | : 情報なし                          |
| 危険有害な分解生成物 | : 情報なし                          |
| その他        | : 情報なし                          |

## 11. 有害性情報

|              |                                     |
|--------------|-------------------------------------|
| 急性毒性         | : 情報なし                              |
| 局所効果（皮膚、目など） |                                     |
| 皮膚腐食性        | : 情報なし                              |
| 皮膚刺激性        | : 軽度の皮膚刺激（ポリオキシエチレンアルキルエーテルを含有するため） |
| 眼刺激性         | : 情報なし                              |
| 感作性          | : 情報なし                              |
| 慢性毒性・長期毒性    | : 情報なし                              |
| がん原性         | : 情報なし                              |
| 変異原性         | : 情報なし                              |
| 催奇形性         | : 情報なし                              |
| 生殖毒性         | : 情報なし                              |
| その他のデータ      | : 情報なし                              |

## 12. 環境影響情報

|         |        |
|---------|--------|
| 土壌中の移動性 | : 情報なし |
|---------|--------|

|           |   |      |
|-----------|---|------|
| 残留性／分解性   | ： | 情報なし |
| 生態蓄積性     | ： | 情報なし |
| 生態毒性      |   |      |
| 水生生物毒性    | ： | 情報なし |
| オゾン層への有害性 | ： | なし   |
| その他のデータ   | ： | 情報なし |

### 13. 廃棄上の注意

|         |   |  |
|---------|---|--|
| 残余廃棄物   | ： | 焼却する場合、関連法規・法令を遵守する。<br>廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。 |
| 汚染容器・包装 | ： | 空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物及び清掃に関する法律）、及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。     |

### 14. 輸送上の注意

|                |      |   |   |
|----------------|------|---|---|
| 国内法規制          | 陸上輸送 | ： | 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。                                    |
|                | 海上輸送 | ： | 船舶安全法に定められている運送方法に従う。   |
|                | 航空輸送 | ： | 航空法に定められている運送方法に従う。   |
| 国際法規制          |      | ： | 航空輸送は I A T A 及び海上輸送は I M D G の規則に従う。                           |
| 国連分類・国連番号      |      | ： | 国連分類基準に該当しない。   |
| 輸送の特定の安全対策及び条件 |      | ： | 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。<br>転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 |

### 15. 適用法令

|                 |   |   |
|-----------------|---|---|
| 国内適用法           |   |   |
| 化審法             | ： | 特定化学物質・監視化学物質を含有しない。                        |
| 消防法             | ： | 非危険物  |
| 安衛法             | ： | 57条の2、第1項の通知対象物質 二亜硫酸ナトリウムを最大0.1%含有する。      |
| 毒劇物法            | ： | 該当しない。                                      |
| 船舶安全法           | ： | 該当しない。                                      |
| 航空法             | ： | 該当しない。                                      |
| 火薬取締法           | ： | 該当しない。                                      |
| 高圧ガス保安法         | ： | 該当しない。                                      |
| 化学物質管理促進法       | ： | 第1種指定化学物質、政令番号407、ポリオキシエチレンアルキルエーテルを1%含有する。 |
| 海洋汚染防止法         | ： | 該当しない。                                      |
| 海外物質登録情報        |   |   |
| T S C A         | ： | 一部未記載                                       |
| E I N E C S No. | ： | 一部未記載                                       |

### 16. その他の情報

|          |   |                |
|----------|---|----------------|
| 問い合わせ先   |   |                |
| 会社名      | ： | 株式会社 万立        |
| 住所       | ： | 大阪府柏原市片山町13-59 |
| 担当       | ： | 技術             |
| 電話番号     | ： | 072-977-0898   |
| F A X 番号 | ： | 072-977-0899   |
| 緊急連絡先    | ： |                |
| 引用文献     | ： |                |

#### お願い

本記載内容は本製品に関するものであり、危険・有害性化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱う業者に提供されるものです。

又、情報の正確性、信頼性、あるいは完全性について保証するものではありません。

記載内容は現時点で入手出来る情報に基づいて作成してありますが、新しい知見により改訂されることがあります。  
取扱う業者は、これらを参考として自らの責任に於いて、個々の取扱い等の実態に応じた、安全な使用条件で適切な処置をこざる事を理解した上で、使用されるようお願い致します。